

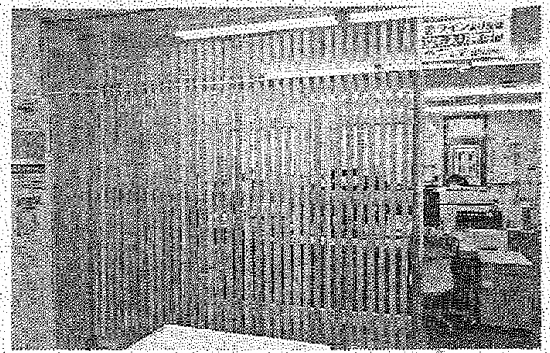
天竜杉の間仕切りで地産材活用リフォーム

本社事務所 改修に地産材

エネジン

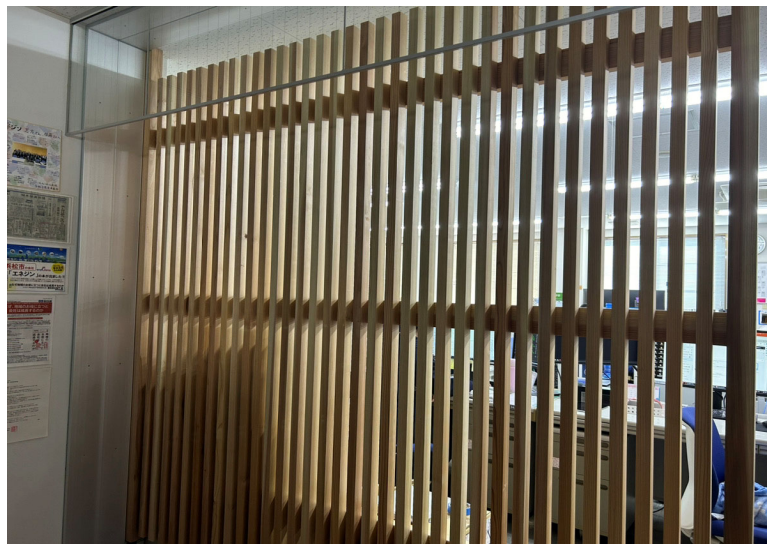
エネジン（浜松市中央区、藤田源右衛門社長）は、地元天竜産木材の需要拡大につなげるべく、本社事務所内に天竜スギを使用した間仕切りを設置した。写真。ビル・オフィスのリフォームに地産材を活用する需要の拡大を支援するため、モデルルームの役割を担っていく。

設置したのは幅2尺、高さ2尺ほどの間仕切り。施工は三立木材（浜松市天竜区）が担当した。間仕切りは主に女性スタッフからの要望に応え設置を決めたもので、設置



後は「フロアが明るくなった」と好評を得ているという。

地産材活用については「新築住宅が主体なのか、という先入観があった」と同社スタッフ。今回のリフォームをきっかけに「すでに都市圏では増加傾向にある『オフィスのリフォームに地産材を使用する』という発想がさらに広まっていくと良い」と話している。



地産材（天竜杉）の活用を促すために、エネジン本社で間仕切りを設置しました。新築や戸建てリフォームだけでなく、ビルやオフィスなど法人でも地産材の活用が出来るモデルとしての役割も担っています。地産材のオフィスリフォームが、天竜杉の需要拡大の一助になっていけたらと思います。

令和6年(2024年)3月29日(金) 建通新聞

